

# 「聖母マリア私たちのために祈ってください」



兄弟姉妹の皆さま

9月を無事に過ごしたことを神に感謝しましょう。暑い日々が過ぎ去り、涼しい環境を迎えた皆様がそれぞれの立場に応じて、頑張っていることと思います。コロナとの戦いはまだ終わっていませんが、健康管理をしっかりと、前を向いて神の導きに信頼してゆっくと歩みましょう。

10月に入りました。10月には幼いイエスの聖テレジア(テレーズ)おとめ教会博士をはじめ、聖フランシスコ(アシジ)修道者、ロザリオの聖母、イエスの聖テレジア(アビラ)おとめ教会博士、聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者、聖ルカ福音記者、聖シモンと聖ユダ使徒の記念日や祝日があります。聖人らの取次ぎを願い、10月の旅を無事に歩むことが出来ますように祈りましょう。

皆様のご存じの通り、10月はロザリオの月と呼ばれています。教会は10月を特別にロザリオの月と定め、マリア様と共に歩もうと呼びかけています。皆様の家庭では、毎日ロザリオを祈っているでしょう。これは小さなことですが意味のあるものだと思います。日々のロザリオは私達一人ひとりの全生涯通じて育てていく、おとめマリアへの愛情の種です。そのため、マリア様を崇敬しロザリオを祈るようにと教会が強く勧めているのです。ロザリオは教会の伝統の祈りの一つです。マリア様を通して祈る教会は、ゴルゴタで十字架の下に立っていたヨハネに「見なさい、これはあなたの母です」と言ったイエス様の言葉の意味を受け継いで示していると言えるでしょう。そうです。マリア様は教会の霊的な母であり、祝福された方でもあります。マリア様は私達一人ひとりの上に恵みが豊かに注がれるようにとイエス様の心の扉をたたくのです。マリア様のようにイエス様に近づく方法を学ぶことが出来るのです。

ロザリオを通して、マリア様が自分の心の中に納めていた神の不思議な業を聞き、学び、神の現存を知りつつ、日々の生活が神をたたえるものとなりますようにこの月を大切にしましょう。

マリア様と共に世界の平和のために祈りましょう

2022年10月

カトリック上野毛教会 主任司祭

ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.